

# —鉄道研究部 2008 年度 夏休み鉄道旅行記道旅行記—

## 「夏の信州、山形の旅」

高 1A 堀 翔太郎

8月2日の朝から5日の夕方にかけて、旅行・鉄道研究部は、信州方面と山形県に旅行に行きました。この旅行の目的は、夏旅行ではあまり乗ることの出来ない特急車両に乗るとというのが目的で、普段の青春18きっぷによる旅行ではなく、土日きっぷという土曜日と日曜日のみですが、JR東日本の北は古川、南は伊東まで行け、普通車であれば新幹線まで使うことができるという今までは少し違った旅行です。

・・・8月2日(土)その1・・・

横浜 7:46～(横浜・中央本線 特急 はまかいじ 松本 行き)～11:22 松本

旅行に参加する部員は石井君を除いて7時20分に横浜駅のみなみ通路に集合しました。この特急はまかいじは、唯一京浜東北線のホームを発着する特急で、京浜東北線の過密ダイヤの影響で、始発駅である横浜駅に到着するのは出発の3分くらい前という点でも、珍しい類の特急と言えます。横浜駅から乗ったときは結構空いていましたが、橋本駅を過ぎてから次第に混み始めました。この列車は、元々横浜線の沿線の住民たちを意識している特急列車のようで、列車が八王子駅に到着すると車内はすごい混み方をしていました。

石井君は八王子駅から合流しました。駅は、中央本線、横浜線、八高線の各線が行き来をするターミナル駅である。

これで、旅行・鉄道研究部の旅行参加メンバーがそろいました。八王子から過ぎること約2時間、終点の松本駅に到着しました。



185系 200番台  
横浜線・中央本線「はまかいじ」  
松本にて(写真は回送)

ここからは、本当は長野駅に行き、長野車両センター見学の前定だったのですが、予約が取れなかったため、自由行動をし、各自で長野駅に行くことになりました。ここから先は私の旅行体験談を書かせていただきます。

・・・8月2日(土)その2・・・

松本 12:05～(篠ノ井線 特急ワイドビューしなの7号長野行き)～12:44 篠ノ井

篠ノ井 12:54～(しなの鉄道 快速 小諸 行き)～13:17 上田

上田 13:49～(上田電鉄別所線 普通 別所温泉 行き)～13:52 三好町

行動しましたが、やはりほとんど人がこのワイドビューしなのに乗ってきました。(というより、長野へ行く一番早い列車がこのしなの号だったので)この「ワイドビューしなの」号はJR東海の383系という車両のスピードと車両の安定性を売りにした車両が使われています。土日きっぷがJR東日本内のみ有効ななか、JR東海の車両に乗ることができる面白い区間でもある塩尻～長野間は、単線ながらも多くの車両が行きかう区間でもあり、また車窓の美しい区間でもありません。そんな車窓を見ながら車両に揺られること、39分で篠ノ井駅に到着しました。この駅は、篠ノ井線としなの鉄道の分岐駅で、ここから私はしなの鉄道で、上田まで向かいます。篠ノ井駅で待っていると、運良くお目当ての車両が着きました。その車両は、169系という元JR東日本の車両で昔は急行用車両として活躍していました。車両に乗り込むと、意外と空いており快適に上田まで行くことができました。



383系 中央本線・篠ノ井線  
特急 「ワイドビューしなの7号」  
篠ノ井にて



169系 しなの鉄道・信越本線  
快速 小諸 行き  
篠ノ井にて

上田駅では接続の関係で30分ほど間があいていたので、駅をぶらつきながら上田電鉄別所線のホームへと向かいました。ここからは上田電鉄に乗り換えて、三好町駅へと向かいます。ホームで待っていると、元東急の7200系は窓の一部を丸い窓に改造した丸窓電車という電車が到着しました。この列車は自分の旅行目的の一つで、車内が原型に近いこの列車を見たいと考えていました。上田電鉄別所線は、名前のとおり上田から別所温泉までを結んでいる私鉄で、現在(2008年秋)走っている車両はすべて元東急の車両です。ちなみに今はこの丸窓電車と、(丸窓ではない)7200系、そして最近私の地元を走っていた、元東急の1000系という車両も走っています。この入って来た丸窓電車に乗って途中の三好町で下車しました。できれば終点の別所温泉まで行きたかったのですが、時間の関係でこの三好町駅で下車することにしました。



上田電鉄 7200 系 丸窓電車  
上田にて



上田電鉄 1000 系 (元東急 1000 系)  
三好町にて

・・・8月2日(土) その3・・・

三好町 14:54～(上田電鉄別所線 普通 上田 行き)～14:58 上田

上田 15:25～(長野新幹線 あさま 527号 長野 行き)～15:58 長野

長野 16:06～(長野電鉄長野線 普通 信州中野 行き)～16:12 本郷

三好町駅で下車してから戻りまで少し時間があつたので、少し撮影をすることにしました。とは言ったものの、全区間単線の上田電鉄では30分に1本程度しか来ないので、ひたすら田んぼの中の踏み切りで電車を待つことにしました。しばらくすると、上田行きの1000系が到着しました。見たところ、3両編成が2両編成となり、パンタグラフが新たに1つ加えられたところ以外は、あまり変わった点はありませんでした。(内心ほっとしました。)この1000系の折り返し別所温泉行きを見送ったあと、三好町駅まで戻りました。帰りの上田行きは、別所温泉からの折り返しのここまで乗ってきた丸窓電車でした。上田駅まで戻ると、上田電鉄の改札前で上田電鉄グッズの販売を行っていました。私は記念の硬券やマグカップなどを購入しました。ここから長野までは時間ときつぱ代節約のため、長野新幹線で長野駅まで向かいます。長野駅からは、長野電鉄(以下長電)に乗車します。長電では、首都圏の私鉄や地下鉄で走っていた車両が数多く今でも走っています。そして数年前より、東急の8500系も、その仲間に加わりました。このとき乗った普通列車もちょうどこの8500系で、なんだか遠くへ来た気がしませんでした。そんなこんなで途中の本郷駅で下車しました。この駅の周りとはとても賑やかで、走っている車両を見ないとすれば、都心の町並みとあんまり変わらない感じで、家の多さから言って、おそらくは長野市街で働いている人たちのベットタウンとなっているといった感じでした。ここでも時間があつたので写真を撮ることにしました。ですが、今日は、なんだか長野行きがやけに混んでるような気が・・・考えてみれば、この日は長野市の一大祭りである「びんずる祭り」の開催日でした。



長野電鉄 8500 系（元東急 8500 系）  
本郷 にて



長野電鉄 1000 系特急 ゆけむり号  
（元小田急ロマンスカー10000 系 hise）  
本郷 にて



長野電鉄 3500 系（元営団 3000 系）  
本郷 にて



長野電鉄 2000 系 B 特急用車両  
本郷 にて

・・・8月2日（土）その4・・・

本郷 17：47～（長野電鉄長野線 普通 長野 行き）～17：54 長野

本郷駅からは、ここまで来たということもあって長野電鉄 2000 系B特急用車両の合間運用である普通列車の長野行きに乗ることにしました。本郷駅で待つこと数分、この列車の1本前の長野電鉄 3500 系普通列車の長野行きが来ました。この日は、有名な祭りであるびんずる祭りが開催される日であって車内は大混雑していました。乗った列車は元々東京の帝都営団（現：東京メトロ）日比谷線で走っていた車両で、今走っている 03 系の日中の混み具合に比べても勝るとも劣らない混み具合でした。さて、しばらくしてお待ちかねの 2000 系が到着しました。やはり、なかなかの混み具合でしたが3両編成だったので何とか座ることができました。座席の座り心地は、やはり特急列車ということもあり座り心地はよかったです、かなり昔の車両なので椅子が回転出来ませんでした。長野駅に着くと、さすがにお祭りムードだったので私も見て回ることにしました。祭りを見て歩いていると出店などもあり、1週して長野駅へと戻りお土産選びを楽しむことにしました。

・・・8月2日(土) その5・・・

長野 19:28～(長野新幹線 あさま 548号 東京 行き)～21:07 上野

上野--:--～(京浜東北線 普通 大船 行き)～--:--神田

神田--:--～(中央本線 快速 高尾 行き)～--:--新宿

新宿 23:10～(夜行快速 ムーンライトえちご 新潟 行き)～4:50 新潟

さてここから一旦東京へと戻ります。とはいっても、まだまだ終わりではなくこれは快速ムーンライトえちごで新潟へ行くためです。本当は、上野から寝台特急あけぼののゴロンとシート(特急料金と指定席料金で利用できるリネン無しの寝台利用の指定席です。女性専用席車あり)を利用する考えだったのですが、指定が人数分取れず(女性専用の方はあいていたらしいのですが…)この快速ムーンライトえちごを利用する案に変更になりました。ホームへと全員で行くと、そこに止まっていた私たちの乗る新幹線は、E2系のポケモン新幹線でした。乗ってしばらくして高崎駅付近へと来たとき、車窓から、打ち上げ花火が見えてきました。そのとき、持ち合わせていた時刻表の臨時列車の欄を見てみると、ちょうど今日だと書いてありました。(なんだかこの日は各地でお祭り騒ぎだったんですね～)そんなことで、上野へ着いた私たちは京浜東北線で神田まで行き中央線で新宿駅へと向かいました。一応山手線でも新宿駅へは向かえますが、この方が速いのでこのルートを使いました。ここからは、適当に明日の朝食を買ってムーンライトえちごへ乗り込みました。ちなみに私は、売店にあった崎陽軒のシューマイと菓子パンとお茶を買いました。その後ホームへ行き、待っていると毎度おなじみの国鉄色485系が来ました。この車両は新潟の車両センターの所属で、同じ車両基地所属の車両で特急北越、いなほ号用にも使われています。車内は普通の特急列車といった感じですが、足はあまり伸ばせなかつたりします。グリーン車は、毎度おなじみといったようなかんじですが、こちらは青春18きっぷやこの土日きっぷでも使えないのであしからず…(昔販売していた3日間きっぷなら使えたと思います。まあ売っていたのは私が中学はいるまで位でした…)。列車内へ入った私はとても疲れていたもので、すぐ眠ることにしました。



E2系 長野新幹線 あさま号  
(ポケモン新幹線) 上田 にて



485系 ムーンライトえちご  
(写真は快速フェアウェイの回送)  
黒磯 にて

・・・8月3日(日)その1・・・

新潟 8:39～(白新線、米坂線 快速 べにばな 米沢 行き)～11:35 米沢

米沢 11:48～(奥羽本線 普通 山形 行き)～11:57 高畠

翌朝、起きたのは新津駅を出た頃でした。なんだか車内が寒いと思いながら、寝ぼけていると、やっと終点の新潟駅に到着しました。新潟駅では、約3時間半の時間があるので各々自由行動をとり、弥彦線へ行く人や私見たく長岡まで行ってそのまま帰ってくるという時間つぶしの行動をとる人間まで出ました。さて、時間もつぶれここからは快速のべにばな号に乗ります。こんな愛称の快速ですが、普通のおんぼろ気動車(私たちにはそれがいいんです)です。この日は、キハ52+キハ47の2両編成で私が乗ったのはキハ52のほうでした。ちなみに、キハ47の方はクーラーが付いていますが、キハ52のほうは完全な非冷房車です。ですが、車両的には、このキハ47よりもキハ52のほうがもともと急行にも使われていた車両ということもあって、優等車両です。(とはいっても、キハ47はキハ52よりも10年近くあとに製造されているうえ、改造等され、近代的になっているのではっきり言って乗り心地はキハ47方がいいです。)列車に乗って数分、かなりの勢いで飛ばし始めました。何かと思って車短部の乗務員室にあるスピードメーターを見てみると、時速約90キロで飛ばしていました。内心快速といってもそこまでは速くないだろう車両も車両だし、(大糸線のキハ52はよくても時速50キロだったのでこのキハ52も同じだろうと思っていました。)この列車が坂町を出て米坂線に入ると、スピードも遅くなり車窓に美しい風景が見えてきました。この米坂線は、風景の美しさがすばらしい路線で、単線名こともあり、白新線内とはまったく違う走り方をします。風景に見とれていると、なぜか睡魔に襲われ、到着の1時間ほど前まで居眠りをしてしまいました。おきると、車窓には広大な田園風景が広がっていました。しばらくして、米沢に到着しました。ここからは、高畠駅へ向かいますが、部長だけは峠の力餅を買うため、福島方面に向かいました。普通列車に乗ること数分、今回の旅行最後の目的地である高畠駅へ到着しました。この駅を最終目的地にしたのかは、この駅を一回でも通ったことがあれば分かると思いますが、この駅は駅の中に温泉の銭湯あるとても珍しい駅です。確かに奥羽本線(山形新幹線)の沿線には、赤湯駅付近の赤湯温泉、かみのやま温泉駅付近の上山温泉、大石田駅付近の銀山温泉といろいろな温泉がありますが、駅の中に温泉があるのはこの駅だけです。なのでここを最終の目的地にしました。私は、この温泉で疲れを取りました。



米坂線 キハ52 快速べにばな

米沢 にて



大糸線 キハ52 普通列車  
南小谷 にて (前の旅行で撮影)

・・・8月3日(日)その2・・・

高島 13:34~(山形新幹線 つばさ 116号 東京 行き)~15:56 東京

解散

さて、ここからとうとう東京へと向かいます。ホームで新幹線を待っていると、E3系のつばさが来ました。ちなみに、山形新幹線と奥羽本線のつばさ号にはE3系という新しい車両と、400系という山形新幹線開通当時から走っている車両の2つがあります。わたしは400系のほうがお気に入りです。この来たE3系に乗りこみ東京へ戻ります。途中、福島で部長が峠の力餅を持ってこの車両を待っていました。そして、ここからE4系のMaxやまびこを前に連結し、つばさ7両+Maxやまびこ8両で一路東京へ向かいます。そして、ここから在来線の線路を走ってきたつばさ号も本気で走ります。奥羽本線内では最高でも時速130キロのこの列車も、新幹線内では軽く時速240キロで走ります。そんな車両に乗ること1時間半ほどで終点の東京駅に到着しました。今回は、私の旅行案初の鉄研での旅行でしたが、ほとんどトラブルも無く無事終了することができました。来年は高2で旅行に参加できるかは分かりませんが、もしもまた私が旅行案を作り通ることあるならば今回のさらに上に行く旅行にしたいと思います。